

NO.31
平成23年
(2011)

環境ひらかた

秋号

本気で取り組むエネルギー問題

→ 7月16日セミナー「和田氏解説の様子」



7月16日(土)ラポールひらかたで開催された自然エネルギー部会主催のひらかた自然エネルギー学校 2011 特別セミナー「東日本大震災から日本のエネルギーを考える」(講師日本環境学会会長：和田武氏)では、今後期待される自然エネルギーの可能性やエネルギーをどうすべきかなどについての講義が行われました。真剣に耳を傾けていた約40名の参加者は、原発事故の事もあって、今回のセミナーを通して“今一人一人がエネルギー問題を本気で考え取組んで

いかなければ”との思いを強く持たれたようでした。

又、自然エネルギー部会では“自然エネルギーへの理解と普及・啓発”の取組みを更に進める為、毎年「自然エネルギー学校」(三回連続講座)を開講しています。今年は第1回目を9月11日(日)に光の峰保育園で開催しました。2回目10月23日(日)、3回目11月6日(日)は両日も9時半集合で「ラポールひらかた」よりバスがでます。申込みもまだ間に合いますので事務局まで。(P7参照)

震災よりエコ発電に関心深まる



→ 8月10日「日経新聞」に掲載された小水力発電の記事

一方、自然エネルギー利用の一つとして今注目されている「小水力発電」にも穂谷自然農園で6月から実験的に取り組んでいます。9月5日(月)にはピコ水力発電機の点灯実験が行われ40W(6V)の発電に成功しました。

今後、穂谷周辺は枚方市の自然エネルギースポットとして自然エネルギー利用啓発の為の施設となることが期待されます。

→ 9月11日「ソーラーパネルを手作り」の様子



環境の為にあなたが出来ることは？

環境フィールドワーク体験学習

11月13日(日)、19日(土)に行われる「環境フィールドワーク体験学習」は、枚方いきもの調査会とNPO法人森林ボランティア竹取物語の会との共同で、枚方市内の環境関連団体を繋ぎ団体の活性化を図ると共に、環境施策の推進に努めるイベントです。竹林の増加による森林の減少や、外来種の増加による在来種への悪影響など、枚方市も様々な環境問題に直面しております。



枚方いきもの調査会によるバードウォッチングを主としたフィールドワークや、NPO法人森林ボランティア竹取物語の会による間伐採を利用したウッドクラフトを2回に分けて行い、最終日の午後から、体験した内容のまとめと環境保全活動をするために、自分に何が出来るかを一緒に考える講座も開きます。是非この機会に、歴史ある枚方市の自然と一緒に見つめ直してみませんか？問合せ・申込みは事務局まで。(詳細はチラシ・HPにて)

インターン実習生の活躍

※インターンとは…

インターンシップ(就業体験)とは、一定期間企業等に入り、実際に働いてみることで、自分の適性を見極め進路決定に役立てられる制度です。

近年は、ボランティア団体でのインターン経験が、就職活動にプラスになると言われています。



龍谷大学 理工学部3回生

松山 祥



龍谷大学 理工学部3回生

濱本 悠介

今年も龍谷大学の学生が、8月4日～23日まで、当団体でインターン実習を行い「環境フィールド体験学習」の広報活動に取り組みました。10日間という限られた時間で、まず当団体の活動内容を把握し、11月開催予定の「環境フィールド体験学習」をどのようにPRしていくのかを検討しました。

11月に開催されるため、広報活動にも限りがありましたが、作成したチラシのポスティングやWEBサイトでの告知を行うなど、アイデアを出し合いながら取り組んでいました。二人の広報活動の成果を楽しみにしたいと思います。

※インターン生の実習感想を、WEBサイトでご覧いただけます。

⇒<http://hirakata-kankyou.net/2011/09/22/houkoku/>

第3回くずは駅前いきいきイベント開催

くずは駅前を花で飾っている様子



この日、スタッフは総勢 100 人、出演者は 220 人と大変多くの方々が活躍し、京阪樟葉駅前の噴水広場は巨大ステージと化し、また、普段は味気ない楠の植樹柵やバス乗り場に 300 個ものプランターが並び、いつもとは違う賑わいが創出されました。



当日のパフォーマンスの様子

このようなイベントが今後も続くことで、交通の重要な結節点である駅が賑わい、また、地域住民の文化の中心となっていくことは素晴らしいことです。今年度後半から、くずはモールのリニューアルが始まり、工事中のイベント開催に関しては様々な障害の発生が予想されますが、継続した取り組みのためにネットワーク会議が担う役割は少なからずあり、校区コミュニティ協議会からも大いに期待されております。

真夏なみの暑さの中、9月11日（日）枚方市樟葉西校区コミュニティ協議会主催事業である「第3回くずは駅前いきいきイベント」は、午前11時より、東日本大震災の被災者を慰霊しアメージンググレースでスタートしました。その後、市長も交えた防犯がテーマとなった樟西レンジャーショーや南京玉簾、樟葉南幼稚園による鳴子踊り、詩吟、ハワイアン、マジックショー、キッズダンス、和太鼓、吹奏楽など、多岐に及び20ものパフォーマンスが16時まで行われました。



お花の準備の様子

ひらかた環境ネットワーク会議は、持ち前のネットワーク力を生かし、樟葉駅周辺事業者や京阪電車や京阪バス等に参加・協力を求め、調整役を果たすことで、このイベントの成功に大きく寄与できました。



当日のパフォーマンスの様子

第7回 くらわんか塾を開講



環境教育サポート部会では、今年も7回目となる“くらわんか塾” (6回連続講座)を12月3日から開講します

環境教育の重要性がクローズアップされている近年、枚方市の第2次環境基本計画に於いても環境推進の為に“教育”の重要性がうたわれ「基本目標1」にも掲げられています。色々な人を対象に、色々な場面で環境教育が展開されることが望まれています。

そこで、くらわんか塾では環境活動を実践してこられた方や、会社・事業所等で環境分野に関わってこられた方、また環境教育に興味・関心のある方を対象に、受講生を募集します。

くらわんか塾を受講して、環境教育の分野で、皆さんの経験を活かしてみませんか？

講座プログラム等の詳細は事務局までお問い合わせください。チラシ等でも後日お知らせします。



→ 昨年のくらわんか塾の様子

S-EMS とは

枚方市立幼稚園・小学校・中学校が市の環境年度計画に沿って“計画—実践—見直し—行動”の一連の取り組みを行うことで、環境保全に努める「枚方市学校版環境マネジメントシステム」の略称

S-EMS の支援事業とは

枚方市に於いて、学校園が行う環境学習会や S-EMS の企画に対して、全国の先進事例や、国等の環境教育に関する情報提供を行う

また環境教育サポート部会では、委託事業として、S-EMS の支援事業を行っています。くらわんか塾の終了生で、希望者は S-EMS の支援チームの一員として登録頂けます。

環境教育サポート部会では、S-EMS 支援のみならず枚方市内の学校園等の環境教育をサポートする活動を幅広く行っていますが、活動の更なる充実を図るため部会員を募集します。

■□■ 環境教育サポート部会員募集 ■□■

環境教育サポート部会では下記のチームでそれぞれ活動を展開しています。興味・関心のある活動があれば、ぜひ、一度ご参加下さい。(問合せは事務局まで)

- ① S-EMS チーム : ① S-EMS 支援担当 (市内 75 の学校園の S-EMS 活動を支援)
② くらわんか塾担当 (環境教育サポーター養成塾の開催)
- ② 出前授業チーム : 市内の学校園などへの環境教育出前授業を実施
- ③ 副読本チーム : 市が発行している環境教育副読本の内容への助言・提案のための検討会を実施
- ④ 総務チーム : ① ホームページ担当 (部会ホームページの更新・管理)
② 外部資金調達担当 (活動資金の調達)
③ 外部協力担当 (部会活動の中で外部団体との協働が必要な場合の交渉・調整)

※前号で記載した「スクールアドバイザー」という呼称は内容にそぐわない為、廃案となりました

自然エネルギー部会

ソーラーパネルの構造に興味深々!

震災等の影響で、エネルギーの問題に対する関心が、今まで以上に高まっています。そんな中、“ひらかた自然エネルギー学校”を今年も開講しました。3回連続で行なわれている当講座の第1回目を9月11日(日)光の峰保育園で開催し、7名の参加がありました。光の峰保育園は2007年に市民共同発電所として取り付けた太陽パネルが設置されている場所でもあり、受講生達はNGOソーラーネットのメンバー二人から、太陽光発電でのミニ講義を受け、指導のもと、40Wのソーラーパネル作りに挑戦しました。受講生の中には太陽光発電パネルの構造が約12cm×6cmの小さいパネルの集合体と知らなかった方も多く、驚いていました。

K-CATのTV取材もあり、緊張しつつ、慣れないハンダこてを使いながらつなげていくという作業を皆さん楽しまれた様子でした。(取材内容は9月13日(火)に放映されました)

今回、皆で作った手作りのソーラーパネルは手作りの記念に、「ひらかた自然エネルギー学校」と名前を入れて、手元に確保し、ソーラーパネルに直接触れる機会に役立てることになりました。

※なお、2・3回目は受付可。詳細P7参照



↑1回目のソーラーパネルの受講生と記念撮影

まちづくり部会

新たなステップ!!一緒に活動しませんか?

枚方の景観を守っていくために活動を昨年より再スタートしたまちづくり部会は、現時点で大きく2つの活動をしています。

活動その1、「まち美化推進」では、各自で、月に一度は市内の公園で一緒にゴミ拾いをしています。今後は活動に参加して下さる方をつなぐ事で、より活動を広げていくことを目標に頑張っていきたいと思っています。

活動その2、「まち並み保存の推進」では、歴史・文化をめぐるウォーキングを企画・実践しています。今後は枚方宿で毎月開催されている「五六市」にも参加・協力する事で盛り上げに貢献出来たらと考えています。

又、新たな取組みとして、地域の歴史・文化、景観保全の現状について勉強会を開催し、課題解決に積極的に取り組んでいけたらと考えています。しかし、これらの活動には多くの方の力が必要不可欠です。枚方の町、歴史・文化、景観や活動等に興味、関心のある方はぜひ一度のぞきにきて下さい。月に1回定例会議をやっています。まずは気軽に事務局までお問い合わせ下さい!



↑まちづくり部会ミーティングの様子

お知らせ コーナー



2011年度 ひらかた自然エネルギー学校

■第2回目 10月23日(日) 9:30~16:00

●身近な木質バイオマス

高槻市の間伐材を利用したペレット工場と、そのペレットが温泉施設で実際に使用されているボイラーの見学

■第3回目 11月6日(日) 9:30~17:00

●穂谷の自然と共に

穂谷自然農園と、太陽光発電・バイオマスボイラーによるエコハウスおよび手作りピコ水力発電を見学。午後は、穂谷野外活動センターで、枚方市の自然エネルギーについて話し合い

●料 金：各回 2500円(昼食付)

●集合場所：ラポールひらかた

●集合時間：9:30

今回両日ともマイクロバスが出ます。個人の見学などは難しいため、ぜひこの機会に参加して、自然エネルギーの新たな可能性を自分なりに発見していませんか？

エコキャップ回収報告

当団体ではエコキャップの回収中継スポットとして回収に協力しています。8月郵送分は19.5kg(7800個)でした。ご協力ありがとうございました。

※1kg=400個で計算。800個でポリワクチン1人分が購入できます。1kgが焼却されると3.15kgのCO₂が発生します。

「天の川の大清掃」に参加しませんか

第10回目となる「天の川大清掃」が装いも新たに展開されます。ウォーキングをしながら清掃活動で川に親しみ、川を愛する気持ちを持ってもらうことを期待して行われます。ぜひご参加下さい

■日 時：11月5日(土) 9:45集合

(約1時間程度)

■清掃場所：天の川周辺

第12回バス!のってスタンプラリー

■日時 11月5日(土)

8:30受付開始/9:00開始

■場所 枚方市役所前 岡東中央公園

■参加無料(別途交通費が必要です)

■定員 150名

環境や地域にやさしいバス・電車を使って、秋の枚方・交野を散策しませんか?たくさんのポイントを回れば、散策後の「お楽しみ」も大きくなるのでは?

環境省の「今後の環境教育・普及啓発のあり方を考える検討チーム」が今年7月に出した報告書の中の“環境教育・普及啓発の具体的な推進方策”の事例として、NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議が取組んでいるこの「バス!のってスタンプラリー」が取り上げられていました。

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせは、ひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。

☎072・847・2286

会員数 145名：正会員 136名(個人104、非営利団体21、営利団体11)

賛助会員 9名(個人8、非営利団体1、営利団体0) ※平成23年9月15日現在

それゆけエコ企業！！

枚方市地球温暖化対策協議会の会員事業者さんで地球温暖化防止に積極的に取り組んでおられる、元気な事業者さんを集める企画です。
今回は「株式会社ホワイトマックス」さんです！

原点は、川遊び。自然から学んだ事を今に生かす

一年間3分の1が太陽発電でまかなえます



飲食業界で使用する手袋やマスクや独自のエンバランス加工を施したプラスチック製品の開発・製造など環境に負荷のかからない商品を手掛けるホワイトマックスは2009年2月に現在堂山にある環境配慮型の新社屋に移転しました。太陽パネル・雨水タンクの設置をはじめ、水質保全のため、洗い物などには環境に配慮した洗剤やアルカリ重曹水を使用、ゴミの削減のため、社内で出る生ゴミを堆肥化し滋賀工場に併設している畑で野菜を育てるなど、環境保全の為に出来る事は全て社員一丸となって取り組んでいます。

会長の増本勝久さんは、環境に興味を持った原点を「幼少時代から川遊びが好きで、毎日川で過ごしていると上流の川はとてもきれいなのに、中流では工場や生活用水が混ざり汚くなるが、下流で海水と混ざる事で水が浄化されている事に気が付き、自然のすばらしい力に感動した事が始まり。」と話して下さいました。

現在では仕事以外でも積極的に様々な活動を行なっておられます。特に天の川をきれいにする取組みを長年にわたって行ってこられました。これからの目標は「天の川で鮎が生息できるまできれいになれば」と少年の様な笑顔で語る増本さん。枚方市の川が自然豊かできれいな川になるのはそう遠くはないのかもしれない。



9月11日に行われた天の川清掃の様子

株式会社ホワイトマックス ▶住所：大阪府枚方市堂山1丁目1番25号
▶TEL:072-848-3678 ▶FAX:072-848-3677
<http://www.whitemax.co.jp/index.html>

編集後記

はじめまして。7月末より、事務局で勤務することになりました樋口由果と申します。

エコ問題について、頭では意識していても、何から取組めば良いのか？分からない人達はまだまだ大勢いらっしゃると思います。私もその中の一人として、同じ目線で、誰にでも取組みやすい活動を、案内・提案して行けたらと考えております。

皆さんが安心して活動出来るよう、事務局の一員として頑張っ参ります。

宜しくお願い致します。

事務局：樋口 由果 (ひぐち ゆか)

ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第31号

平成23年10月1日発行(年4回発行)

発行：(特活)ひらかた環境ネットワーク会議
〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サブリ村野内(旧村野小学校)

電話 072-847-2286

FAX 072-380-4591

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

HP <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者：田中 晃

編集責任者：廣田 武司